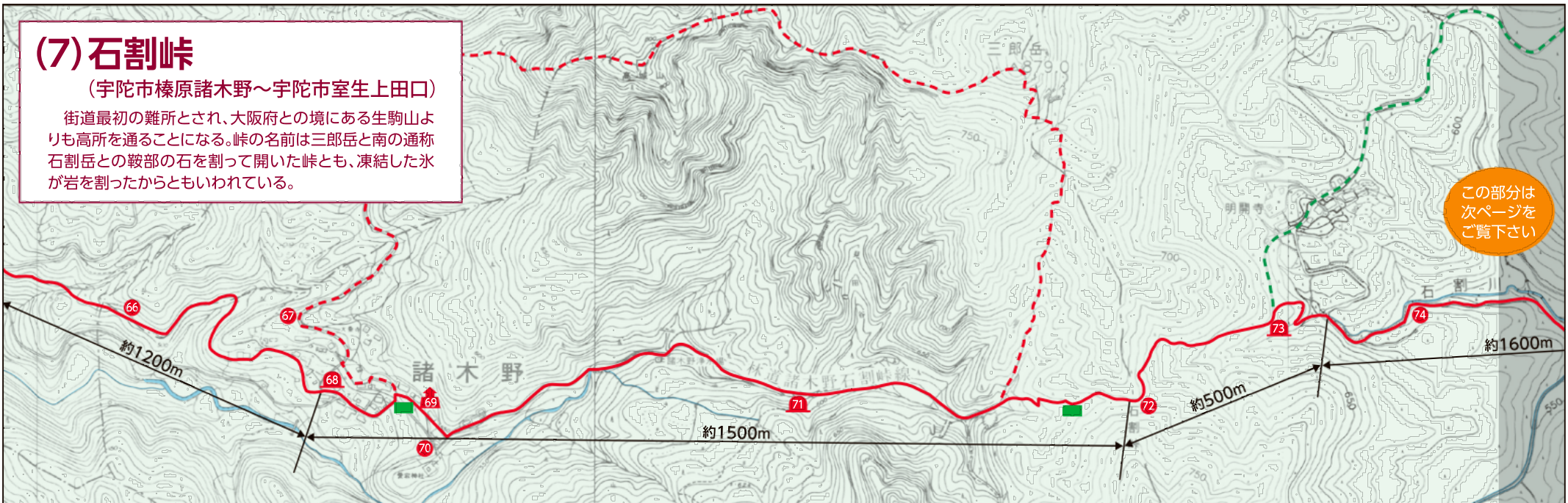


(7) 石割峠

(宇陀市榛原諸木野～宇陀市室生上田口)

街道最初の難所とされ、大阪府との境にある生駒山よりも高所を通ることになる。峠の名前は三郎岳と南の通称石割岳との鞍部の石を割って開いた峠とも、凍結した氷が岩を割ったからともいわれている。

この部分は
次ページを
ご覧ください




66 諸木野関所跡
街道を歩く人から通行料を徴収する目的で15世紀中頃に街道の各所に関所が設けられた



67 諸木野弥三郎の墓
弥三郎は、弓の名将で、国司の命により宇陀や大和の武将の動きを大河内城へ報告する役目を担っていた



68 諸木野の道標
近世にはここに多くの旅籠があった。「右いせ本街道 左仏隆寺」平成2年建立



69 太神宮燈籠
明治22年(1889)の建立。この集落から曾爾村山柏まで約10.2Kmトイレなし



71 宇陀ヶ辻の道標
内牧から平井を経て菟田野(古市場)や大字院(宇陀松山)へ通じる



72 石割峠
伊勢本街道の最高地点 695mを越える




73 笹原の道標
「右いせ 左原山道」と刻む宝暦3年建立。右へ細い道を下る



原山から室生寺へ
笹原の道標を直進すると原山の集落を経て県道を川沿いに下ると約7Kmで室生寺へ(室生寺 五重塔)



70 愛宕神社前からの眺め
振り返れば眼下に諸木野集落が広がる



三郎岳・高城山へ
三郎岳(878m)は宇陀市の最高峰で山頂は360度の展望が開ける。高城岳(810m)を経て赤埴方面へ下る宇陀市のハイキングマップあり。ちなみに太郎岳は俱留尊山(1038m)で次郎岳は住塚山(1009m)(石割峠手前の道標)



74 姫隠岩
仁徳天皇に追われた連総別王が恋人の女鳥王を岩陰に隠して追手から逃れたという伝説が残る

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- まちがえやすい分かれ道
- 地藏など
- その他文化資産等
- 案内板
- トイレ

大内六地蔵